2021 年度　馬術部　メンバーインタビュー

部員数	20人以下
所属学群	人文･文化学群, 社会･国際学群, 人間学群, 生命環境学群, 理工学群, 情報学群, 医学群, 芸術専門学群, その他（大学院など）
練習場所	筑波大学馬場

主な成績

全日本学生馬術大会出場

関東学生馬術大会総合団体4位（2021）

北関東学生馬術大会優勝

竹森 大貴（人文 3 年）
松代 さくら（芸術 2 年）

― 私が目指す「馬術」

竹森

馬術部は、私も含め現在所属している全員が大学から馬術を始めました。今までの経験を活かしつつ、新しいことをどんどん学んで、大学で人生の転機となる新たな経験を積むことが出来る部活です。今までに体験したことがないような新鮮な経験が出来ていて、感謝しています。
馬に乗るだけでなく、乗馬クラブの方など大人の方々とも関わらせて頂く中で、高校まででは出来なかったような経験がたくさん出来るので、厚みのある人生になる部活なのではないかなと思います。

松代

私にとっての馬術は、率直に言うと「楽しむこと」というのが大きいです。
馬に乗っている時もお世話している時もとても楽しいので、楽しんでやりがいのある部活生活をするというのが第一にあります。
その上で、人間ではなく馬が主体という特殊な部でもあるので、馬との関係や、馬を通じて、同期や先輩、外部の大人の方々など人との繋がりを育んで、大切にしていく部活だと思います。

— 筑波大学をどう思っていた？

松代

私は芸術専門学群に所属していますが、画材や作品自体にお金を掛けたいという意識が強く、学費は抑えたいということで、関東の国公立大学で美術を学べるところを探していました。その中で、筑波大学に芸術専門学群というのがあることを知り、志望しました。

竹森

高校 1 年生くらいの時に、日本の伝統文化などを学ぶ「民俗学」に興味を持ちました。この分野を大学で学べるところはあまり多くはないのですが、筑波大学では専攻としてあるのを見付けて、志望しました。

— 今のチームで学んだこと、チームの好きなところ

竹森

馬術部の活動は馬に乗る以外にも、草刈りや障害を設置するための道具の作成などの作業も多くあります。農作業や DIY など土木系の力もつけることが出来ます。
また、馬という動物と関わる部なので、今までの部活で学んできた人間関係に加え、動物との関係という全く新しい関係を学ぶことができます。それは難しいところであり楽しいところでもあるのですが、そういった新しいものを学べるというのは良いところではないかなと思います。

松代

一番は馬が大好きです。
本当に可愛くてしょうがなくて、毎日可愛いねー！って言っています（笑）また、馬術部の人たちはみんなちょっとずつ変わっているのですが、ユニークで面白い人ばかりです。
馬と関わる部なので、お世話の当番など責任を伴う仕事も多く、お互いに助け合っています。私も何度も助けられていますし、部員と一緒にいることが楽しい部活です。もちろん馬もですが（笑）

— これからの目標（直近の目標、人生の目標）

竹森

チームの目標は、毎年出場している全日本学生馬術大会に、来年も出場することです。筑波大学の馬術部は、技を競う「馬場馬術」、馬場の中でバーを跳ぶ「障害馬術」、草原や森などの広大な敷地の中で置いてある木などを跳ぶ「クロスカントリー」の 3 つの競技を合わせた「総合馬術」というのをメインに活動しています。総合馬術で団体を組み、全日本に出場することを目指して、部員全員で頑張っていきたいです。

松代

最終学年になったときに、大きな大会に出させて頂けるよう日々努力していきたいです。また、大学卒業後も乗馬を続けていきたいという気持ちがあるので、生涯スポーツとして安全に健康に、怪我をしないように、その上で結果を残せるように、続けて良かったと思えるようにしたいです。

— 未来のチームメイトに一言

松代

大変な部分も多いですが、それ以上のやりがいや出会いがあり、楽しくて、周りにも凄いと思ってもらえる良い部活だと思います。
また、社会人から始めようと思うとお金の掛かるスポーツですが、筑波大学はとても良い馬や環境も揃っているので、大学のうちに始めることをお勧めしたいです！
新しいことに挑戦してみたいな、動物が好きだななど、一つでも当てはまったらぜひぜひ見学に来てほしいです！

竹森

まずは馬が可愛いです。動物と触れ合えるという点でなかなか他の部には無い魅力かなと思います。また、朝が少し早いのですが、早寝早起きが身について健康的な生活が送れます（笑）
そして、馬術は多くの人がやっているメジャーなスポーツではないので、自分の身の上話をするときに役に立ちます。なかなか出来る経験ではないので、大学で経験してもらえたらなと思います。